



中越産業社屋外観

富山県南砺市を中心に、砺波市、小矢部市、高岡市へLPガスを供給している中越産業株式会社。本社のあるJR福野駅の隣・高儀駅前には自社の充填工場を構え、地域に密着した体制を整えている。ガス燃料販売のほか、上下水道工事や住宅リフォームなどの事業も展開し、創業75年以上にわたり地域の暮らしを支え続けてきた。長年の実績と深い信頼関係をもとに、安心・安全もお届けしている企業である。

顧客保安を守るためのLPWA導入

集中監視は以前から採用していたものの、近年は固定電話を持たない顧客が増え通信に電話回線が使えない状況が発生していた。そこで顧客回線に依存しないLPWAを導入した。申請は初めてだが、既に取り組み開始していた部分もあり、補助金採択が計画的導入の後押しになればと申請に踏み切った。

導入の目的は「緊急時の迅速な情報取得、安定的な保安体制の強化。主目的は業務効率化ではなく、顧客の安心と満足度向上」と野澤 隆英氏（取締役LPガス部部长）。ガスが出ないなどの非常事態では、顧客は大きな不安を抱くが、顧客が気づく前にこちらが異常を把握し連絡できれば安心を提供できる。

申請や機器設置は、メーカーからの助言を受けて進めていたが、設置時期が繁忙期と重なり、人員・時間ともに余裕がなく、実働1名で200台を設置するという厳しい状況に。そこで、機器取付用にあらかじめ切断した配線の事前準備、同一地域をまとめた効率的な施工、通常業務を他メンバーに分散し担当者が設置に専念するなど、社内での準備や調整を行いながら進めていった。

「保安を最優先に」LPWA導入後もゆるぎないガス会社としての使命

設置後について、野澤氏は「LPWAを取り付けることで合理的な配送が実現していることは間違いない。しかしガス会社としての最も重要な使命は、まず安心・安全に使っていただけること。ガス切れを起こさないことも大切な保安要素であり、LPWA導入はその向上にもつながっている」と話す。一方、遠隔遮断については「緊急性の高い場合は実施することもあるが、最終的には必ず訪問し安全確認を行う」と強調。迅速な現地確認を基本とし、合理化はあくまで副次的な価値という位置づけだ。検針業務についても負担が軽減され、既存業務に割ける時間を有効に活用できている。

検針業務が減っても「訪問機会をゼロにはしない」と明言。顧客と直接会ってこそ築ける安心・信頼があるとの考えから、年4回ニュースレター「ちゅうさんニュース」を発行し、従業員でポスティングしてお届け。社内の話題やガス機器紹介に加え、保安についても力を入れ情報発信している。同社は集中監視システムを「TOSS24(トータルオンラインセーフティシステム24)」と呼称。ニュースレターでもTOSS24により、1年間365日・24時間安心して使用できることを周知している。

集中監視システムToss24未設置のお客様へ

ガスを使用しているのを忘れて、外出してしまったら...

寝ている間にガス漏れが起ったら...

その悩み、TOSS24にお任せください!

外出先から火の消し忘れなどのお問合せも弊社にて対応できます!

TOSS24とは

お客様のガスの使用状況や保安状況を24時間365日監視。日中不在がちのお宅やお年寄り・お子様だけのご家庭など、広く安心してご利用いただけます。

集中監視システムToss24未設置のお客様へ

お客様の安心と安全のため、現在Toss24未設置のお客様宅に順次取り付けにお伺いさせていただきます。

取り付けにかかる費用はいただきませんので何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ニュースレター「ちゅうさんニュース」で設置の周知

地域と顧客へ安心を届けるために

「保安優先」の観点で、将来的には設置率100%を目指す。今後も、地域に根差したガス会社として顧客本位の姿勢を維持しつつ、保安体制のさらなる強化とサービス向上を目指し、日々安心・安全を提供していく。



JR高儀駅近くにある自社充填工場

LPWA通信システムの実態調査票（事前調査）

フリガナ 会社名	チリツサキョウカブシカイヤ 中越産業株式会社	会社所在地	富山県南砺市福野775			
連絡先	部署名	LPガス部	電話番号	0763 - 22 - 4511	従業員数	30名
	担当者名	野澤 隆英	ホームページ	https://www.chusan.net		
会社設立	西暦	1949年	11月	1日	顧客件数	件 内家庭用 件 業務用 件
事業内容	1. LPガス販売、灯油販売 2. 管工事、冷暖房空調工事、上下水道工事 3. 住宅設備機器販売、住宅リフォーム工事 4. 土木工事、建築工事					
会社の強み	1. LPガス保安体制がしっかりと確立されている 2. 会社設立から75年が経過し、地域での知名度が高い 3. 住まいの事なら何でも承ることができる総合力がある 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 (該当項目☑をクリック)							
	<具体的活用方法> お客様先の緊急事態等を速やかに察知するため、より高度な保安・付加価値をお客様に提供するためのツールとして活用。							
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> LPWA通信システム未設置先の保安状況がオンラインで把握できていなかったため、お客様により高度な保安を提供できていなかった。							
	<導入によって期待する効果> 保安サービスの向上。配送予測の精度向上。検針業務の負荷軽減							
設置状況	今回設置件数	200件	累計設置件数	件	全顧客に占める設置率	%		
導入費用	総金額	1,610,000円	内補助金対象金額	1,610,000円	補助金額	805,000円		
導入期間 (今回分)	補助金申請日	西暦	2024年	6月	27日	所要期間	実行体制	
	機器設置完了日	西暦	2025年	2月	4日	8ヶ月	合計	2名 内社内 2名 内社外 名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
導入までのスケジュール	●仕様検討			■											
	●機器メーカー選定			■											
	●設置先の選定			■	■										
	●補助金申請書作成				■										
	●事前調査						■	■							
	●事前周知							■	■						
	●設置工事								■	■	■	■	■	■	
	●試験運用									■	■	■	■	■	■
	●本格運用													■	■
	●メーカー講習会							■							
●その他 ()															

通信機器メーカー選定理由	導入以前よりすでに東洋計器製のIOT-Rへの移行をすすめていた
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 設置がガス需要期に差し掛かり、時間や人員にゆとりのない状態での設置作業となった
	<上記問題点を改善した方法> 設置担当者に業務内容を他の担当者にも振り分け、短期間で設置に専念してもらった。お客様先設置前に準備できることは可能な限り準備をし、作業の時短を図った
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	お客様先の保安状況がオンラインで掌握でき、保安の高度化、サービスの向上につながった
導入によって削減できた費用	メータ検針に係る人件費、配送の合理化を図れた上での配送経費
反省点	申請受理後の設置計画をしっかりと策定し、それを見越した人員配置も含めた全体的な業務計画を事前に検討しておくことが必要であった

他用途への 拡充意向	<input type="checkbox"/> Web請求	<input type="checkbox"/> SNS運用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔地開閉栓	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応	<input type="checkbox"/> 最適な料金提案 (該当項目☑をクリック)
	<input type="checkbox"/> 機器拡販	<input type="checkbox"/> 省エネ提案	<input type="checkbox"/> 電気等セット販売	<input type="checkbox"/> イベントへの集客	<input type="checkbox"/> その他 ()

自己評価	作業項目	評価 (数字を入力)		評価5または4の具体的な理由
		評価	コメント	
5 大変だった	●申請作業	3	普通	
4 やや大変だった	●仕様確定	1	大変ではなかった	
3 普通	●メーカー選定	1	大変ではなかった	
2 あまり大変ではなかった	●事前周知	2	あまり大変ではなかった	
1 大変ではなかった	●設置工事	5	大変だった	通常業務プラスアルファとしての人員配置
	●試運転	2	あまり大変ではなかった	
申請から導入後 (現在) までにあった、 反響・意見・要望等	社内から	設置に向けて余裕を持った計画、人員配置が必要であった。メータ検針業務はかなり少なくなり、その時間を別業務に振り分けることができるようになった。		
	業界・取引先などの社外から	補助事業が今後も存続するなら、自社 (店) でも申請してみようかという卸店さんも出てきた		
	お客さまから	メータ遮断の際にも速やかな連絡・対応ができ、大変感謝されている。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	申請受理後の設置計画をしっかりと策定し、それを見越した人員配置も含めた全体的な業務計画を事前に検討しておくことが必要。お客様先のより高度な保安体制確保のためにLPWA導入は積極的に実施すべきである。			